

「児童・保護者アンケート結果」より

考 察 と ま と め

国津小学校 平成22年9月3日

全体的に

年度はじめの通信での重点目標の一つとして、達成目標数値を80%にしました。

「とても・よく」+「まあ・やや」でレベル80% (そのうち「とても・よく」が全体の25%以上)

とても・よく	まあ・やや	未回答	あまり	全く
25%	80%			

これを基準としてみた場合、両者合計では、ほとんどの項目で目標数値を達成している状態であるといえます。全16項目平均では、昨年度末の83%から84.6%と若干、上昇しました。ちょうどしたアンケートを分析するとともに、結果を活かして、さらに質の高い教育活動を進め、児童・保護者の満足度が、より高い学校をめざしたいと思います。

昨年度目標数値に達していなかった②「教師はわかりやすい授業を工夫している」や⑮「早寝、早起き、朝ごはんができています」について、どちらも77%だったのが、本年度は84%、78%という評価をいただきました。

しかし、少ないとはいえ、「あまり」「まったく」という回答もありました。また、全体の状況では明らかにはなっていませんが、学級ごとに課題が見えています。このことを学校全体でしっかり受け止めて、全ての児童・保護者の方から「満足」という声をいただくことができるよう努力していきたいと思います。

課題として

【保護者の回答から達成基準を満たしていない項目】

- レベル65%と大変きびしい評価をいただいた「⑧学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」という項目です。

保護者のみなさまの見方としては、子どもたちの学ぶ教室、玄関、廊下、戒壇といったところに目を向けられているのだろうと考えています。子どもたちに自分たちの学校、教室という意識を育てていくとともに、清掃活動を通して具体的に清掃を行うことを各清掃区の担当の指導のもと、確認していきたいと考えています。

- レベル68%とこれも大変きびしい評価をいただいた「⑭子どもは学校の宿題をきちんとやっている」という項目です。

子どもたちは、92%がきちんとやっているとこたえています。学校では、主に国語・算数で学んだことの定着を図るために宿題を出しています。子ども一人ひとりの状況に応じて、内容、量を考え、これからも対応していきたいと考えます。

- レベル75%の評価をいただいた「⑬子どもは意欲的に取り組んでいる」という項目です。

教育の大切な目標がこれだととらえています。「自分で考え、方法を選択し、自分の力でやり遂げること」を学校では、子どもが意欲のある状態と考えています。意欲を育てるために、子どもたちの成功経験をふやしていきたいと考えています。

- レベル75%と同じ評価をいただいた「⑮子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを実行している」という項目です。

最近の脳科学の進展にともなって、「早寝・早起き・朝ごはん」が子どもたちの育ちにとっても重要な影響をあたえていることはみなさんもお存知のことと思います。学校では、なぜ早寝・早起き・朝ごはんが必要なのかの動機づけを引き続きしてまいります。各家庭でのご協力をお願いいたします。

- レベル78%の評価をいただいた「⑤学校では特色ある行事を工夫している」という項目です。

平成23年度、新学習指導要領が実施されます。内容的には従来の指導要領に比べて教育内容が、3割程度の増加となっています。本年は、その移行期間ということで、従来の学習内容にプラスして子どもたちに指導をおこなっています。そのため時間的な制約がより大きくなっていることは事実です。一方、従来からの行事がややもするとマンネリ化している状況もあります。こうした点を踏まえて、今後も特色ある行事の工夫に努めていきたいと考えます。

- レベル78%の評価をいただいた「⑦教師は意思疎通を図るために、家庭への連絡をきめ細やかにこなしている」という項目です。

子どもをあいだにおいて、保護者のみなさんと学校が「どのようにしたら、子どもがよりよく育っていけるか」をともに考えあう機会として、大切な取り組みであると考えています。今以上に、子どものよいことはもちろんですが、困っていることについても発信していきたいと考えます。

- レベル78%の評価をいただいた「⑩学校通信や学年通信はわかりやすく、学校の様子をよく知ることができる」という項目です。

ややもすると、学校通信や学年通信が行事の案内などになってしまっているくらいがあります。子どもが、各家庭でその日のできごとをおうちの人たちにお話することはもちろんですが、通信をとおして子どもたちのいきいきとした姿を読み取っていただけるものにしていきたいと考えます。

- レベル78%の評価をいただいた「⑫子どもは、学校や学級で好ましい友達関係をもっている」という項目です。

学校生活の大半を子どもたちは、友だちと担任教師の中ですごしてまいります。そんななかで、学校ではQU検査をおこなって、学期に1回、クラスの状況の確認をおこなうとともに、分析し指導に活かしていくための手立ての

交流をおこなっています。また、日常的に子ども一人ひとりの状況で、気になる点を交流しあうとともに、どのようにしていけばよいかを話し合っています。引き続き子どもたちにとって居心地のよい学校、学級となるよう取り組んでいきたいと考えます。

【児童・保護者両者合計の回答で達成基準を満たしていない項目】

- 「⑧学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」という項目で、**レベル75%**でした。昨年度は76%でしたから、ほとんど変わっていない状況です。
- 「⑭子どもは学校の宿題をきちんとやっている」という項目で、**レベル78%**でした。昨年度は79%でしたから、ほとんど変わっていないという状況です。
- 「⑮子どもは早寝・早起き・朝ごはんを実行している」という項目で、**レベル75%**でした。昨年度は77%でしたから、ほとんど変わっていない状況です。

1学期のアンケート結果では、保護者のみなさまから大変きびしい評価をちょうだいしたと考えています。7月、8月に実施した本校の研修会の中でも、アンケート結果を職員間で共有し、何が足りなかったのか、どうしていけばよいのかを考えあいました。その結果、子どもが学校生活をいきいき意欲的に取り組めていない状況にあるのではないかということを確認しあいました。ちょうだいした評価をもとに子どもたちがさらにいきいき意欲的に活動できるよう取り組んでいきたいと考えます。ご家庭でも励ましの言葉がけをいただきますようよろしくお願いいたします。

- 担任していただいている先生、またそれ以外の先生方にも子どもたち一人ひとりに細かく指導していただきまして感謝しております。大規模校では決してできない学校のあり方だと思います。一日でも長く国津小学校が存続していけるように、お手伝いできることがありましたら、何でもさせていただきます。保護者の方々、子どもたちが統廃合についてどのようなお考えであるのか、本音の部分を聞かせていただく機会があればなあと思います。

ありがとうございます。子どもが楽しそうにしていることを各家庭でお話できることが、保護者のみなさまには学校での取り組みの一端をつかんでいただくことになると思います。各家庭で、子どもたちが学校の様子をいきいき語れるように教師力をアップしていきたいと思います。

限られた職員体制のなかで、保護者のみなさま、地域のみなさまに大変ご無理を申し上げて、職員だけではできない面のご助力をいただいています。引き続き、よろしく願いいたします。

統廃合についても、引き続き PTA の役委員会等の場で交流する機会をつくっていただければと考えています。

- トイレの洋式をもっと増やして、きれいで広いトイレを作ってほしい。(最近の子どもは洋式のほうがなれているから。)

生活様式の変化にともなって、各ご家庭でもトイレは洋式が大部分だと思います。現在、学校は男子トイレが2カ所、女子トイレが1カ所洋式です。子どもたちが安心してトイレを使えるよう、女子トイレの洋式化を要望していきたいと考えます。

- 国津小学校のホームページの学校案内の項目で、児童数が33名とあります。41名に訂正していただきたいです。

ありがとうございます。ご指摘の部分については早速訂正するとともに、ほかにも誤りがないか確認をいたしました。今後も、より多くの目で、誤り等がないかどうか、確認していただければありがたいです。

- “どこでもあいさつ”と挨拶の指導はずっとしてもらっていると思うが、挨拶をしない様子が気になることがある。

「挨拶は、コミュニケーションの基本である」といわれます。下校会、全校麻の買いはじめ各学級で、引き続き、なぜ挨拶をするのかを子どもたちにわかるように話をするとともに、実践化を図っていきたいと考えます。

●アンケートは担任の先生に渡すのではなく、箱などを作っていかがですか？

現行、各学年ごとの状況も把握したいと考え、担任を窓口としてアンケートを実施しております。おっしゃっていただきますように方法を工夫して、玄関に学年ごとの箱を設置し、提出いただくようにしてまいりたいと考えます。

●どんなに口が上手で話すことができても、他人への気遣いや思いやりがないといけないと思います。心ある子に成長してほしい。

まったく同感です。私たちは多くの人たちに囲まれて生活をしています。その人とまったく同じ気持や感情にはなれないかもしれませんが、その人の状況から、様子から思いをめぐらしたり、思いをはせたりすることはできると思います。そんな人への気配りができる子どもを育てていきたいと考えます。

○毎日子どもが楽しそうに通うのは学校生活が充実しているからだと思います。友達にきつい言葉を言われても、回りの友だちのフォローがあるようですし、とてもありがたいと思っています。

ありがたいお言葉です。学校が子ども一人ひとりを認められる場であり、子どもたちが安心できる場であるよう引き続き、子どもたちに寄り添い取り組みを進めていきたいと考えています。

●もう少し個人のレベルを上げるための短期目標と、長期目標を子どもとも保護者とも話し合えるように、子どもの弱いところを明確にしてもらいたい。何につまずき、なぜクリアできないのかを先生の立場から分析してほしいです。

子どもの力を学校では、総合的なものだととらえています。少し硬くなりますが、人格的な完成をめざしていくというのが学校教育の目的です。そして、個々の子どもの学力はもちろんですが、性格、行動を含めて、総合的な力を子どもにつけていくために日々の教育活動をおこなっています。そのため、個々の子どもたちの課題は何なのか、どのような手立てをしていけばよいのかといった点をつかんで指導にあたっていくことは、当然のことだと考えています。

学校では、子どもの弱い点を明確にするとともに、どういう取り組みをしていけばよいのか、どこにつまずいているのか子どもの状況をつかんでいます。担任の教師に連絡を取っていただきますとともに、今以上に連携を深めて、疑問点を解消していただければと考えます。

2学期より職員が大切にすること

今まで以上に

- ◎ 家庭とのきめ細かな連携を大切にします
 - ・ 進んで連絡 進んで対話 すばやい対応 を実行していきます。
- ◎ 褒めて 寄り添って 子どもにとっての安心感を大切にします
 - ・ 子どもの思いを聴き切る言わせ切ることに努めます。
 - ・ 思いっきり褒めることを実践します。厳しく温かくかかわります。

アンケート課題から具体的な取り組み

- ◎ 「早寝・早起き・朝ごはん」意欲付けの取り組み
 - ・ 健康学習を実態に応じ手おこない、意欲の向上をはかります。
- ◎ 朝学習の充実 と 宿題100%の取り組み
 - ・ 8:25～8:35 までの朝の学習を定着充実させます。自学の力向上を。目標をきめて、達成できたら思い切りほめることを実践します。
月・金＝基礎基本の習熟（ICT 活用等）
火・木＝読書 水＝全校集会
 - ・ 宿題をすべての子どもにしっかり取り組ませる手立てを講じます。子どもへの言葉かけ 家族の協力 内容吟味 励ましによる意欲作り
- ◎ 清掃指導のあり方の見直しと教師による点検
 - ・ 子どもとともに清掃活動に取り組み、方法を具体的に指示するとともに、評価を大切にします。